

2025年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年12月13日

上場会社名 株式会社ミサワ 上場取引所 東
コード番号 3169 URL <https://www.misawa-corp.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 三澤 太
問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 鈴木 裕之（TEL）03-5793-5500
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年1月期第3四半期の業績（2024年2月1日～2024年10月31日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年1月期第3四半期	9,355	4.6	87	—	89	—	27	—
2024年1月期第3四半期	8,943	△3.0	△34	—	△51	—	△50	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円	銭	円	銭				
2025年1月期第3四半期	—	3.85	—	—				
2024年1月期第3四半期	—	△7.08	—	—				

（注）潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年1月期第3四半期	5,164	—	3,019	—	58.5	—
2024年1月期	5,164	—	3,043	—	58.9	—

（参考）自己資本 2025年1月期第3四半期 3,019百万円 2024年1月期 3,043百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
2024年1月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2025年1月期	—	0.00	—	—	—
2025年1月期（予想）	—	—	—	8.00	8.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年1月期の業績予想（2024年2月1日～2025年1月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	13,305	10.1	201	209.8	189	287.0	128	946.5	18.17

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年1月期3Q	7,112,400株	2024年1月期	7,112,400株
② 期末自己株式数	2025年1月期3Q	38,135株	2024年1月期	46,635株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年1月期3Q	7,068,993株	2024年1月期3Q	7,086,769株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期累計期間の経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 当四半期累計期間の経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、物価高騰の影響で個人消費が伸び悩んだものの、各種政策の効果もあり雇用・所得環境が改善し、景気は緩やかな回復傾向が見られました。しかしながら、原材料・エネルギー価格の高騰、世界的な金融引き締めに伴う円安の常態化、不安定な海外情勢の長期化など、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

インテリア・家具業界におきましては、倉庫・店舗・オフィス等の賃料コストや、配送コストの上昇及び原材料価格の上昇、人材不足による人件費の増加等により、依然として厳しい競争環境が続いております。

一方、2023年の「生活雑貨、家具、インテリア」のBtoC-EC（消費者向け電子商取引）市場規模は、2兆4,721億円（前年比5.0%増）、EC化率は、31.5%（前年比1.9%増）となっております（出典：令和5年度デジタル取引環境整備事業（電子商取引に関する市場調査）2024年9月経済産業省）。「生活雑貨、家具、インテリア」につきましては、市場規模、EC化率ともに物販系分野のなかでも高い値となっており、更なる売上の拡大を見込んでおります。

こうした環境の中で当社は、持続的に安定した成長の実現に向け、商品構成の充実と付加価値の高い商品を選べ、他社との差別化を図ってまいりました。

その結果、売上高9,355,282千円（前年同期比4.6%増）、営業利益87,927千円（前年同期は営業損失34,746千円）、経常利益89,593千円（前年同期は経常損失51,036千円）、四半期純利益27,236千円（前年同期は四半期純損失50,198千円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

①unico事業

販売戦略としましては、ECサイトのリニューアルを行いました。新たなプラットフォームへの入れ替えを行った事でSEO対策やUI/UXを改善し、ECサイトの売上拡大、実店舗への送客強化に繋げてまいります。また、脆弱であったCRMの運用体制の再構築を図ってまいります。

業務改善としましては、全ての会議体の内容、出席者、会議の所要時間、開催頻度などを洗い出し、会議体そのものの見直しを図りました。また各部署が作成している資料を改めて見直し、資料のとりやめ、内容の簡素化を図りました。これにより削減された業務時間をより付加価値を生み出す業務にあててまいります。また人員増加の抑制にも繋げてまいります。

以上の結果、当第3四半期累計期間のセグメント売上高は9,323,446千円（前年同期比4.9%増）、セグメント利益92,397千円（前年同期は34,140千円のセグメント損失）となりました。

②food事業

飲食業界における慢性的な人員不足という経営環境及び、unico事業部とのシナジー効果も限定的であることを踏まえて、2024年9月30日をもって当社店舗bistro oeuf oeufを閉店としました。これによりfood事業からの撤退となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間のセグメント売上高は31,836千円（前年同期比45.4%減）、セグメント損失4,470千円（前年同期は605千円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産の残高は、前事業年度末に比較して417千円減少し、5,164,356千円となりました。その主な要因については、下記のとおりになります。

流動資産の残高は、前事業年度末に比較して139,713千円減少し、3,658,192千円となりました。主な要因は、商品の増加85,098千円、現金及び預金の減少33,381千円、売掛金の減少183,952千円等があったことによるものであります。

固定資産の残高は、前事業年度末に比較して139,296千円増加し、1,506,163千円となりました。主な要因は、無形固定資産の増加84,506千円、繰延税金資産の増加45,043千円等があったことによるものであります。

負債の残高は、前事業年度末に比較して23,172千円増加し、2,144,690千円となりました。主な要因は、短期借入金の増加200,000千円、未払法人税等の増加78,777千円、賞与引当金の増加133,113千円、買掛金の減少133,721千円、契約負債の減少221,415千円等があったことによるものであります。

純資産の残高は、前事業年度末に比較して23,589千円減少し、3,019,665千円となりました。主な要因は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加27,236千円、剰余金の配当による利益剰余金の減少56,526千円等があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年1月期の業績予想につきましては、2024年3月15日付「2024年1月期 決算短信」において公表した数値から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年1月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,117,279	1,083,897
売掛金	856,729	672,776
商品	1,670,601	1,755,699
原材料及び貯蔵品	23,641	7,872
その他	129,654	137,945
流動資産合計	3,797,905	3,658,192
固定資産		
有形固定資産	429,727	447,215
無形固定資産	136,788	221,295
投資その他の資産		
敷金及び保証金	515,841	498,358
繰延税金資産	229,951	274,995
その他	54,557	64,298
投資その他の資産合計	800,350	837,652
固定資産合計	1,366,867	1,506,163
資産合計	5,164,773	5,164,356
負債の部		
流動負債		
買掛金	441,572	307,850
短期借入金	—	200,000
1年内返済予定の長期借入金	24,996	24,996
未払法人税等	—	78,777
賞与引当金	69,940	203,054
契約負債	927,853	706,437
その他	544,694	524,208
流動負債合計	2,009,056	2,045,325
固定負債		
長期借入金	54,174	35,427
退職給付引当金	40,080	45,701
資産除去債務	18,206	18,236
固定負債合計	112,461	99,364
負債合計	2,121,517	2,144,690
純資産の部		
株主資本		
資本金	380,485	380,485
資本剰余金	360,485	360,485
利益剰余金	2,331,881	2,302,591
自己株式	△29,595	△23,895
株主資本合計	3,043,255	3,019,665
純資産合計	3,043,255	3,019,665
負債純資産合計	5,164,773	5,164,356

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2023年2月1日 至2023年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自2024年2月1日 至2024年10月31日)
売上高	8,943,814	9,355,282
売上原価	4,539,004	4,688,914
売上総利益	4,404,810	4,666,368
販売費及び一般管理費	4,439,556	4,578,441
営業利益又は営業損失(△)	△34,746	87,927
営業外収益		
受取利息	22	118
運送事故受取保険金	2,541	3,671
助成金収入	218	—
その他	1,550	1,819
営業外収益合計	4,334	5,609
営業外費用		
支払利息	238	314
為替差損	20,301	1,968
その他	84	1,660
営業外費用合計	20,623	3,943
経常利益又は経常損失(△)	△51,036	89,593
特別損失		
固定資産除却損	15	29,409
特別損失合計	15	29,409
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△51,051	60,183
法人税、住民税及び事業税	50,034	77,991
法人税等調整額	△50,888	△45,043
法人税等合計	△853	32,947
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△50,198	27,236

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はございません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はございません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 2023年2月1日 至 2023年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	unico事業	food事業	
売上高			
店舗	7,106,628	58,361	7,164,989
EC	1,778,824	—	1,778,824
顧客との契約から生じる収益	8,885,453	58,361	8,943,814
外部顧客への売上高	8,885,453	58,361	8,943,814
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	8,885,453	58,361	8,943,814
セグメント損失(△)	△34,140	△605	△34,746

(注) セグメント損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

当第3四半期累計期間(自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	unico事業	food事業	
売上高			
店舗	7,491,385	31,836	7,523,221
EC	1,832,060	—	1,832,060
顧客との契約から生じる収益	9,323,446	31,836	9,355,282
外部顧客への売上高	9,323,446	31,836	9,355,282
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	9,323,446	31,836	9,355,282
セグメント利益又は損失(△)	92,397	△4,470	87,927

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)
減価償却費	97,299千円	99,516千円